

令和8年度学校評議員活用状況報告書

第 1 回学校評議員会 【令和8年6月18日（木）実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

あらかじめ以下の資料を配布し、評議員からのご意見をうかがった。
（学校要覧、生徒在籍数、授業改革、生徒支援（指導）、進路状況、生徒会活動、生徒相談、茅野高通信）
意見交換

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- ・授業参観は実技教科や福祉の授業など、幅広く見学できるよう、教頭が先導しながら案内した。
- ・評議員は継続の方が多く、本校の様子をわかっているため、概要説明を端的にまとめ、意見交換が多くできるように時間設定した。
- ・中学校時代に不登校であった生徒が本校で生き生きと活動している様子を校長が「通信」にまとめて配布し、現在の生徒の様子を知っていただいた。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- ・デュアルシステムを3社にすることで、より多くの職種を体験し進路選択に繋げていくと共に、学んだことを共有する場を持つことで職業観が養えるとよい。
- ・対面の良さが出ていた授業だった。生徒同士、教員と生徒の対話があったことが対面での授業の良さである。一方で教員の意識やモチベーションの維持が重要。
- ・AI 主流の世の中であるが、最後に残るのはコミュニティである。人と対話できるようになることが必要。茅野高の魅力や取り組みをもっと外に発信できるとよい。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- ・通信制高校との違いや特色を打ち出していくことが一つの大きな課題である。
- ・少人数ならではの良さや、対話のある授業の良さを指摘していただいたことは大きな励みである一方、教員の授業づくりや意識の向上について更に研究を重ねる余地があることを再確認できた。
- ・生徒も教員も「茅野高で培ったものが生きる」ような授業づくり、学校づくりに取り組みたい。
- ・デュアルシステムが学びの軸となり得ることを改めて認識できたため、検証と改善を繰り返して、生徒の職業観を培い自分に合った進路選択ができるようにしていきたい。
- ・本校の魅力や取り組みを広く知ってもらえるよう工夫していきたい。